

国 語 科

| | |
|-------|--|
| 教科の目標 | (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 |
|-------|--|

評価規準

| 評価の観点 | 評価規準 | 評価方法 |
|-------------------|--|--|
| 知識・技能 | (1) 言葉の特徴や使い方を理解している (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方を身につけている (3) 我が国の言語文化に親しんでいる | ・定期テスト ・小テスト(漢字・文法等) |
| 思考力・判断力 表現力 | (1) 話すこと・聞くことに関する思考力・判断力・表現力を身につけている (2) 書くことに関する思考力・判断力・表現力を身につけている (3) 読むことに関する思考力・判断力・表現力を身につけている | ・定期テスト ・聞き取りテスト ・スピーチ、ビブリオバトル ・課題作文 |
| 主体的に学習に 取り組む態度 | (1) 言葉がもつ価値を人に伝えようとしている (2) 読書を生活に役立てようとしている (3) 我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている | ・授業中の学習活動や課題に取り組む姿勢・態度 ・読書記録 ・自主学习でまとめたレポート等 |

使用教科書・教材

| | |
|-----------------|--|
| 国語 1、2、3 (光村図書) | ○国語便覧 ○ワークブック ○補助プリント ○百人一首 |
|-----------------|--|

国語科学習へのアドバイス

| |
|--|
| ① 失敗や間違いを恐れずに、積極的に国語でコミュニケーションをとりましょう。 ② 何度も国語に触れ、国語を使いながら身につけていきましょう。 ③ 生活の中で国語を取り入れて、工夫しながら学びましょう。 ④ その日に学んだことを必ず家で復習しましょう。毎日30分以上の学習を粘り強く続けましょう。 |
|--|

【第1学年】標準授業時数 140 時間

| | 学 習 内 容 | 学 習 の ポ イ ン ト |
|-------------|---|---|
| 一 学 期 | <p>朝のリレー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野原はうたう <p>1、学びをひらく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シンジュン <p>2、新しい視点へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ダイコンは大きな根？ ・ ちょっと立ち止まって <p>3、言葉をつなぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詩の世界 ・ 比喻で広がる言葉の世界 <p>読書生活を豊かに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西の魔女が死んだ ・ 硬筆に取組む・言葉、漢字の学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉を楽しみ、作品に親しむ。 ・ 好きな詩を選んで朗読する。詩をつくる。 ・ 心情を表す表現や人物の行動から、気持ちの変化を読み取る。 ・ 文章のまとまりに着目し、構成をとらえる。 ・ 問題提起と答えの文章に着目し、構成をとらえる。 ・ 詩に触れ、言葉のもつ豊かさを感じ、表現の工夫をする。 ・ 本文を通読し、内容のおおよそをつかむ。 ・ 読書記録を書いたり感想文を書いたりして本の世界を広げる。 |
| 二 学 期 | <p>4、つながりの中で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 星の花が降るころに ・ 大人になれなかった弟たちに… ・ 「言葉」をもつ鳥, シジュウカラ <p>4、いにしへの心に触れる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろは歌 ・ 月に思う ・ 蓬萊の玉の枝「竹取物語」から ・ 今に生きる言葉 <p>5、論点を捉えて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「不便」の価値を見つめなおす ・ 毛筆に取組む ・ 言葉の学習・漢字の学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 場面の状況や登場人物の心情を読みとり作品を味わう。 ・ 時代や状況の中で揺れる人物の心情や作者の思いを読み取る。 ・ 古典の文章を音読し、現代とのつながりを考える。 ・ 歴史的仮名遣いに注意して音読する。 ・ 故事成語について調べ、現代に生きるものの見方を理解する。 ・ 段落や構成に着目して文章を読む。 ・ 要約、自分の考えをもって意見交換する。 |
| 三 学 期 | <p>*百人一首に親しむ</p> <p>6、表現を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少年の日の思い出 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の構成に注意して、登場人物の心情をとらえる。自分の考えを深める。 ・ 一年間のまとめとして、教材文や生活の中から課題を見つけ、言葉についての考えを深める。 ・ 文章を読んで、言葉の面白さや不思議さをみつける。 |

【第2学年】標準授業時数 140 時間

| | 学 習 内 容 | 学 習 の ポ イ ン ト |
|-------------|---|---|
| 一 学 期 | 1、広がる学びへ <ul style="list-style-type: none"> ・ 見えないだけ ・ アイスプラネット ・ 枕草子 2、多様な視点から <ul style="list-style-type: none"> ・ 生物が記録する科学 ・ メディアと上手に付き合うために ・ 硬筆に取り組む 3、言葉と向き合う <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい短歌のために ・ 短歌を味わう ・ 言葉を比べよう ・ 文法への扉Ⅰ 3、読書生活を豊かに <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界で一番の贈り物 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 好きな言葉や表現を見つけ、感想を出し合う。 ・ 人に思いが伝わるように朗読する。 ・ 情景描写に着目し、登場人物の気持ちを読む。 ・ 類義語・対義語・多義語の意味を理解する。 ・ 説明の目的や相手を明らかにして、ふさわしい説明の仕方について理解し、練習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 序論・本論・結論の文章構成を捉え、その関係に注意しながら読む。 ・ 進行案をもとに構成や話し方に注意して話す・聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 楷書と平仮名の調和に注意して練習する。 ・ 優れた短歌や俳句にふれ、その世界を味わう ・ 自立語の品詞と性質について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ メディアの特性を生かして調べ、まとめる方法を学習する。 |
| 二 学 期 | 4、関わりの中で <ul style="list-style-type: none"> ・ 盆土産 ・ 字のない葉書 ・ 気持ちを込めて書こう ・ モアイは語る 5、いにしえの心を訪ねる <ul style="list-style-type: none"> ・ 音読を楽しもう 平家物語 ・ 扇的「平家物語」から ・ 仁和寺にある法師「徒然草」から ・ 漢詩の風景 ・ 毛筆に取り組む 6、論理を捉えて <ul style="list-style-type: none"> ・ 君は「最後の晚餐」を知っているか ・ 話し合って考えを広げよう ・ 文法への扉② ・ 根拠を明確にして意見を書こう | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人物の姿や関係を象徴する事柄に注目し、人と人との触れ合いについて考える。 ・ 「私」の語る内容から、父親への思いを読み取り、家族や親子の人間関係について考える。 ・ 敬語の働きや種類について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 音読・朗読を工夫し、人物の思いを想像する。 ・ 登場人物の人物像について、また、作者の思いについて考える。 ・ 漢詩の特徴が分かる。漢文の訓読文が読める。 ・ 書き初めの練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一つの文明が崩壊し、消滅する原因を考える。地球の未来を考える。 ・ 自分の意見の根拠を明確にし、構成を工夫して文章にまとめる。 |
| 三 学 期 | 7、表現を見つめて <ul style="list-style-type: none"> ・ 走れメロス ・ 文法への扉③ ・ 表現の仕方を工夫して書こう ・ 科学はあなたの中にある ・ 漢字③ 言葉の力 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の人物像の変化を読み取る。 ・ 付属語の働きと種類について理解する。 ・ 書く活動をとおして、自分を見つめる。 ・ 方言と共通語について、その役割や特徴を理解する。 ・ 質問項目を検討し、インタビューした情報を整理して、文章にまとめる。 ・ 筆者の言葉に対する考え方を読み取る。 ・ 1年間の学習を言葉との出会いという視点から振り返る。 |

【第3学年】標準授業時数 105時間

| | 学 習 内 容 | 学 習 ポ イ ン ト |
|-------------|---|--|
| 一 学 期 | <p>1 深まる学びへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 春に ・ 握手 ・ 学びて時にこれを習ふ ・ 漢字1 熟語の読み方 <p>2 視野を広げて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月の起源を探る ・ 「想いのリレー」に加わろう ・ 言葉1 和語・看護・外来語 <p>3 言葉を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 俳句の可能性 ・ 俳句を味わう ・ 文法への扉1 すいかは幾つ必要？ <p>読書生活を豊かに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高瀬舟 ・ 硬筆に取り組む ・ 未来の私にお薦めの本 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 詩に表現されている内容と、現実の世界の在り方とを対応させながら読む。 ・ 登場人物の言葉やエピソードからその人物像を捉え、内容を理解する ・ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書く。 ・ 文脈の中での語句や図の使い方などに注意して読み、筆者の論理の展開を捉える。 ・ 聞き手の反応に応じて説明や話し方を工夫する。 ・ 俳句を読み、表現の深さを味わう。 ・ 今までの読書生活を振り返り、本との関わり方について考える。 |
| 二 学 期 | <p>4 状況の中で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶 ・ 故郷 ・ 練習 推敲して文章を整える ・ 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 ・ 漢字1 漢字の造語力 <p>5 いにしえの心と語らう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古今和歌集 仮名序 ・ 君待つと（万葉・古今・新古今） ・ 夏草 ・ 古典を心の中に <p>6 論旨を捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作られた「物語」を超えて ・ 説得力のある文章を書こう ・ 初恋 ・ 文法への扉2「ない」の違いがわからない <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毛筆（行書）書き初め ・ 課題作文の書き方 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 状況や人物を描写する語句や表現に着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。 ・ 内容にふさわしい文章の形態を選び、構成を工夫して書く。 ・ 和歌に表れた昔の人の心情や状況を読み取る。 ・ 和歌の効果的な表現や語句の使い方を読み味わう。 ・ 歴史的な背景などを想像しながら、作者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・ 文語文を表現のしかたや文体の特徴に注意して読み味わう。 ・ 文章を読み比べて、ものの見方や考え方を広げる。 ・ 社会的な課題について説得力のある提案をし、意見を調整しながら共同宣言をまとめる。 ・ 筆者のものの見方に学び、情報化社会の可能性と困難について自分の意見をもつ。 ・ 語句の用い方や比喻などの効果、論理展開のしかたについて考える。 |
| 三 学 期 | <p>7 未来に向かって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰かの代わりに ・ 私を束ねないで ・ 三年間の歩みを編集しよう <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業文集づくり 課題作文 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の生き方について考える。 ・ 詩の中の言葉や表現から作者の思いを捉え、自分の可能性について考える。 ・ 伝える内容を明確にし、紙面構成を工夫しながら編集する。 |

